



学校教育目標 『自らをきたえ 共に生きる子』

「関わり合い」＝「リアル」な体験

窪田 智

校庭の樹木の紅葉、真っ青な空、雪化粧をした富士山。人穴小からはその季節に応じた色を楽しむことができます。秋から冬になろうとするこの時期は、一年中で最も色鮮やかで、様々な色を楽しむことができる時と言えます。豊かな自然の中で、伸び伸びと生活できる人穴小の素晴らしさを改めて感じています。

11月は、牛乳講座や食育授業を始め、学校外部の方から学ぶ場がたくさんありました。合同社会科見学や音楽鑑賞教室などでは、他校の子供たちとも一緒に学習をしました。また、「人穴キッズゲルニカプロジェクト」では、渡邊実様や長田佳代様をお迎えし、色塗りをスタートさせました。今後は、保護者や地域の皆様にも参加していただきながら、完成を目指したいと思います。

本校では「関わり合い」を大切にしながら教育活動を進めています。もちろん子供たちが主体的に「関わり合う場」を求めていく力を身に付けることも大事なのですが、子供たちだけでは難しいことがたくさんあります。子供たちの思いに寄り添いながら、「関わり合う場」をできるだけたくさん設定できるよう考えています。

ICTの活用が広まり、インターネット等を利用しながら多くの情報をリアルタイムで手に入れることができます。子供たちはわざわざ現地に外向かなくても、画面越しにたくさんの疑似体験(視覚的体験)をすることが可能となりました。その一方で、デジタルだけではなく「リアル(現実的な体験、直接触れる体験、相手を感じる体験)」の必要性が高まっています。画面を介さない直接の関わり合いは、今求められている「リアル」そのものです。表情や雰囲気、触れたときの感触や温かさなど人(もの)と直接関わることで感じられるものがあります。それを感じられる力こそ、子供たちにとって必要な力だと考えます。実物に触れる体験活動と共に、人と関わり合う体験(場)をこれからも充実させていきたいと思っています。

この冬はコロナウイルス感染症とインフルエンザが同時流行するのではないかと、心配されています。事実、コロナウイルス感染症は11月に入り、増加傾向にあります。本校は欠席者「0」の日がほとんどで、今のところ心配はありません。今のよい状態が続くよう、マスクの着用や手指の消毒、うがい・手洗いなど感染対策を徹底、継続していきますので、御協力をお願いいたします。

〈 令和5年度の計画について 〉

過日、区長様を始めとする地域の方々、PTA会長様にお越しいただき、来年度の「運動会」「つどい」について話し合いを行いました。参会して下さった皆様からたくさんの御意見をいただき、ありがとうございました。決定事項は次のとおりです。

1 運動会について

- ・令和5年10月21日の土曜日開催とする。雨天順延。22日(日)も実施できなかった場合に備え、次週28日(土)、29日(日)までを予備日とする。それ以降の延期が必要となった場合は、学校単独で行う。

2 つどいについて

- ・令和6年1月20日の土曜日開催とする。

2つの行事は共に、地域との合同開催の有無にかかわらず、日程については示したとおりに実施いたします。